

医薬品販売の 多国籍企業

Voltage SecureData の柔軟性が、医薬品販売企業のデジタルトランスフォーメーションとクラウド導入の取り組みをサポートするうえでの鍵となります



グローバルな拡大で必要となる セキュリティの再検討

ここでご紹介するのは、数千の販売店を運営し、数万のインスタ POS カードリーダーを使用されているお客様です。この企業では、顧客の支払い明細を保護するために社内のポイントツーポイント暗号化ソリューションが必要となったため、担当チームがコンサルタントパートナーと協力し、市場における選択肢を調査しました。

グローバルな事業拡大計画に伴い、個人識別情報 (PII) や保護対象保健情報 (PHI) のデータ保護がこれまで以上に重要となりました。また、監査に要する時間や労力に悩まされていたことから、監査範囲を縮小するツールも求めていました。調査の結果、多くのベンダーのソリューションでは顧客の支払いデータしか保護されないことが判明しました。ポイントとなるのは明らかに PCI データ保護ですが、FPE (フォーマット保持暗号化) 機能を拡張すれば、顧客の PII/PHI

毎年数億件のオンライントランザクションが発生しますが、Voltage 独自の FPE と SST のサポートにより、データ侵害のリスクを大幅に軽減できます。Hadoop との統合で、PII/PHI データの安全な分析機能を利用できるようになり、これは戦略的な意思決定を行ううえで役に立ちます。

データ保護に利用できると考えられました。さらに、人事データなど内部のアプリケーションベースのユースケースもカバーすることができそうでした。

Voltage が提供する拡張性に優れた データ分析機能

このプロジェクトでは、革新的な最新のアプローチが確実に必要になると考えられたため、同社の DevOps チームはコンサルタントパートナーと緊密に議論を重ねました。その際に Voltage SecureData by OpenText™ が推奨されました。OpenText™ プロフェッショナルサービスの担当者が同社の社内チームと協力して、インスタ POS カードリーダーと関連する e コマースシステム全体に、Voltage SecureData Payments by OpenText™ を導入しました。これにより、エンドツーエンドの暗号化とトークン化によるクレジットカード業界 (PCI) セキュリティの基準に準拠できました。このシステムは POS システムと統合され、機密保持が必要なクレジットカードデータを即座に暗号化して、トランザクションフロー全体でデータを保護します。

その後、同社はデータレイクとして Hadoop を採用しました。支払いデータの保護に成功したのに続き、Voltage SecureData の活用範囲を拡張して Hadoop との統合へと進み、拡張性のきわめて高いデータ分析機能を実現しました。Voltage SecureData のフォーマット保持型暗号 (FPE 化) により、分析プラットフォームに集約された薬局システムとバックオフィスデータに対して、完全な PII 保護が提供されます。

概要

業種

小売

所在地

グローバル

課題

データ分析機能を向上させて、データセキュリティの適用範囲を拡大し、新しいクラウド導入モデルに対応すること

製品とサービス

Voltage SecureData

成功ポイント

- データ侵害のリスクを大幅に軽減
- データセキュリティの適用範囲の拡大により高度なデータ分析が可能になり、的確な意思決定に寄与
- Azure にスムーズに移行でき、データセキュリティが全体的に改善
- 規制に完全に準拠しながら監査サイクルを短縮

同社はデータレイクとして Hadoop を採用しており、支払いデータの保護に成功したのにつき、Voltage SecureData の活用範囲を拡張して Hadoop との統合へと進み、拡張性のきわめて高いデータ分析機能を実現しました。

お問い合わせ

www.opentext.com



経営レベルではマイクロソフトが戦略的アライアンスパートナーとして選定され、デジタルトランスフォーメーションへの歩みがさらに推進されることになりました。同社は自社のデータセンターを維持するのではなく、Azure クラウド環境にデータを移行することを目指しています。Voltage によって、Azure に保存された患者データを、使用中にも転送中にも保存中にも暗号化できることを評価しています。注目度の高いプロジェクトで Voltage Key Servers が Azure に導入されたことで、Voltage ソリューションセットの汎用性と柔軟性が実証されました。

データ侵害のリスクを軽減し クラウド戦略をトータルでサポート

Voltage SecureData は、ライブデータの露出を発生時点から防止し、中間 Web 層を通じて信頼できるバックエンドホストに至るまでの経路を持続的に保護します。そのため、同社は監査範囲を縮小できました。FPE とセ

キュアステートレストークナイゼーション (SST) の機能により、保護された状態でデータの使用と分析が可能になります。

Voltage を利用した社内ソリューションにより、企業の独立性が高まり、決済パートナーに対する影響力が生まれます。毎年数億件のオンラインランザクションが発生しますが、Voltage 独自の FPE と SST のサポートにより、データ侵害のリスクを大幅に軽減できます。Hadoop との統合で、PII/PHI データの安全な分析機能を利用できるようになり、これは戦略的な意思決定を行ううえで役に立ちます。Voltage の柔軟な導入オプションを活用することで、同社のチームはセキュリティを脅かすことなくクラウド移行戦略を拡大できただけでなく、ユースケースを追加して全体的なセキュリティ体制を改善することもできました。監査サイクルも短縮され、企業としてすべての業界規制に完全に準拠できるようになりました。

opentext™ | Cybersecurity

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスまで、エンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。